

平成29年度の実施状況と今後の取組について

1. 教育・保育の確保状況について

〔待機児童の発生状況〕

本県の保育所等における待機児童の発生状況は、平成29年10月1日現在、7市3町で452人となり、昨年同期に比べて24人減少しました。

待機児童の発生状況（平成29年10月1日）

単位：人

市町	H28.4.1	H28.10.1	H29.4.1	H29.10.1	4月増減	10月増減
津市	0	93	0	99	0	6
四日市市	64	142	54	132	△ 10	△ 10
伊勢市	0	27	0	0	0	△ 27
松阪市	0	48	0	82	0	34
鈴鹿市	0	0	0	4	0	4
名張市	29	109	8	78	△ 21	△ 31
亀山市	6	14	6	21	0	7
熊野市	2	5	5	0	3	△ 5
志摩市	0	4	0	0	0	△ 4
伊賀市	0	20	3	12	3	△ 8
菰野町	0	7	24	15	24	8
朝日町	0	0	0	2	0	2
明和町	0	7	0	7	0	0
計	101	476	100	452	△ 1	△ 24

待機児童数を年齢別にみると、0歳児が61.1%、1, 2歳児が36.9%を占めており、待機児童のほとんどが低年齢児（0～2歳児）であることがわかります。

年齢別待機児童数（平成29年10月1日）

単位：人

市町	0才児	1,2歳児	3～5歳児	計
津市	77	22	0	99
四日市市	75	54	3	132
松阪市	55	27	0	82
鈴鹿市	4	0	0	4
名張市	37	35	6	78
亀山市	9	12	0	21
伊賀市	7	5	0	12
菰野町	5	10	0	15
朝日町	0	2	0	2
明和町	7	0	0	7
計	276	167	9	452
全体に占める割合	61.1%	36.9%	2.0%	
	98.0%			

また、申込児童数は、全体としては、昨年同期に比べて407人増加しています。

申込児童数を年齢別にみると、3～5歳児は153名減少している反面、0～2歳児は560名と増加しています。

申込児童数の推移

単位：人

	0才児	1歳児	2歳児	3歳児	4,5歳児	合計
28年10月1日現在 A	3,019	5,811	7,183	8,482	17,234	41,729
29年10月1日現在 B	3,090	6,212	7,271	8,492	17,071	42,136
B - A	71	401	88	10	△ 163	407
	560			△ 153		

次に、0～2歳児の保育所等利用率は、次頁の表のとおり、平成29年10月1日現在、38.1%となっており、昨年同期に比べて1.4%上昇しています。

各市町においては、このような傾向をふまえ、地域の実情に応じて低年齢児の保育基盤の強化を検討していく必要があります。

県としては、幼児教育無償化等の国の動向も踏まえ、各市町において必要な保育基盤の整備が行えるよう、認定こども園、保育所や地域型保育事業の創設等を支援するとともに、保育士・保育所支援センター事業を充実して、人材の確保に努めていきます。

0～2歳児の保育所等利用率（平成29年10月1日）

単位：人

市町	0～2歳児保育所等利用児童数(A)	0歳人口(B)	1歳人口(C)	2歳人口(D)	保育所等利用率 A/(B+C+D)	0～2歳児待機児童数
津市	2,516	1,986	2,147	2,114	40.3	99
四日市市	2,037	2,365	2,537	2,527	27.4	129
伊勢市	1,106	784	920	953	41.6	0
松阪市	1,655	1,176	1,284	1,266	44.4	82
桑名市	1,041	1,063	1,190	1,157	30.5	0
鈴鹿市	1,921	1,537	1,670	1,583	40.1	4
名張市	678	537	553	563	41.0	72
尾鷲市	136	91	69	81	56.4	0
亀山市	460	394	433	450	36.0	21
鳥羽市	149	89	119	88	50.3	0
熊野市	142	91	96	87	51.8	0
いなべ市	339	332	336	356	33.1	0
志摩市	402	237	257	241	54.7	0
伊賀市	875	606	621	630	47.1	12
木曽岬町	24	29	37	23	27.0	0
東員町	186	179	205	225	30.5	0
菰野町	358	338	366	363	33.6	15
朝日町	102	116	120	108	29.7	2
川越町	140	175	145	166	28.8	0
多気町	172	93	101	111	56.4	0
明和町	262	205	182	179	46.3	7
大台町	66	53	58	48	41.5	0
玉城町	154	128	130	139	38.8	0
度会町	76	45	53	63	47.2	0
大紀町	56	17	37	26	70.0	0
南伊勢町	84	38	48	46	63.6	0
紀北町	139	56	72	75	68.5	0
御浜町	66	39	60	43	46.5	0
紀宝町	103	73	88	74	43.8	0
計	15,445	12,872	13,934	13,785	38.1	443
参考) H28同期	14,970	13,698	13,759	13,311	36.7	455

※0～2歳児の保育所等利用率＝0～2歳児保育所等利用児童数÷0～2歳児人口

※出典：0～2歳児人口は「三重県の人口－三重県月別人口調査結果（平成29年10月1日現在）」より

〔認定こども園、保育所の整備状況〕

私立の施設で国または県の補助金を活用し、平成29年度中に完成予定の施設は10施設あり、1号認定（教育）は345名定員が減少したものの、2号・3号認定（保育）は649名の定員増となり、全体では304名の増加となります。

また、利用定員の増減を伴わない大規模修繕等については、31施設が実施しています。

定員の増減を伴う施設の整備状況（平成29年度）

市町	種別	整備区分	定員増減
津市	認定こども園	創設・改築	1号 35名減、2・3号 64名増
津市	認定こども園	創設・大規模修繕	1号 150名減、2・3号 72名増
津市	認定こども園	創設	1号 75名増、2・3号 88名増
津市	保育所	増改築	2・3号 20名増
四日市市	保育所	創設	2・3号 150名増
四日市市	保育所	創設	2・3号 60名増
伊勢市	認定こども園	創設・大規模修繕	1号 235名減、2・3号 96名増
名張市	認定こども園	創設	2・3号 30名増
名張市	小規模保育事業	創設	2・3号 19名増
伊賀市	保育所	増改築	2・3号 50名増
計	10施設		1号 345名減、2・3号 649名増

定員の増減を伴わない施設の整備状況（平成29年度）

市町	種別	整備区分	定員増減
津市	保育所	大規模修繕	2施設
津市	保育所	防音壁	1施設
四日市市	保育所	大規模修繕	1施設
伊勢市	認定こども園	外構	1施設
伊勢市	認定こども園	非常通報装置	2施設
伊勢市	保育所	大規模修繕	1施設
伊勢市	保育所	非常通報装置	4施設
桑名市	保育所	大規模修繕	2施設
桑名市	保育所	防音壁	1施設
桑名市	保育所	非常通報装置	14施設
いなべ市	保育所	大規模修繕	2施設
計			31施設

2. 地域子ども子育て支援事業について

〔平成29年度の実施状況〕

地域子ども・子育て支援事業のうち、三重県が重点的な取組として推進する「病児保育事業等」、「放課後児童クラブ」についての実施状況は以下のとおりとなります。

(1) 病児保育事業等の実施状況

病児・病後児の預かり（病児保育）については、病院・保育所等において一時的に保育するなどの病児保育事業と、ファミリー・サポート・センター事業として援助を行う会員の自宅で預かる病児・緊急対応強化事業があります。

病児保育事業に取り組む市町（広域対応を含む）数は23、ファミリー・サポート・センターの病児・緊急対応強化事業に取り組む市町（合同実施を含む）数は16となり、重複を除くと市町数は25となります。

今年度は、松阪市において、病児対応型施設の整備（平成30年度開設予定）を実施しておりますが、実施市町数については、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業ともに増減はありません。

①病児・病後児保育： 23市町（広域対応を含む）

ア 病児対応型 施設設置市町 8市、 実施市町 21市町

設置市町名	実施施設名	利用定員	広域利用対象市町
津市	津病児デイケアルーム「ひまわり」	6人	
四日市市	四日市市病児保育室「カンガルーム」	6人	
四日市市	桜花台病児保育室「チェリーケア」	3人	
伊勢市	病児保育エンゼル	4人	明和町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
松阪市	医療法人おおはし小児科（アリス）	4人	多気町、明和町、大台町
桑名市	ウエルネス医療クリニックこどもケアハウスぞうさん	8人	いなべ市、東員町、木曾岬町、川越町、朝日町
桑名市	はなまる病児保育室	8人	いなべ市、東員町、木曾岬町、川越町、朝日町
鈴鹿市	鈴鹿市病児保育室ハピールーム	6人	
志摩市	よいこ病児保育室	4人	鳥羽市
名張市	みらいのこどもクリニック病児保育室	3人	

※設置機関：桑名市のはなまる病児保育室は事業所内保育事業、その他はすべて医療機関

イ 病後児対応型 施設設置市町 4市町、 実施市町 4市町

設置市町名	実施施設名	利用定員	広域利用対象市町
津市	津病後児保育室「HUG」	3人	
伊賀市	伊賀市病児・病後児保育室「くまさんルーム」	3人	
菰野町	聖マリアこども園	3人	
玉城町	玉城町認定こども園下外城田保育所	2人	

※設置機関：津市は小規模保育事業、伊賀市は医療機関、菰野町は認定こども園、玉城町は町

②ファミリー・サポート・センター（病児・緊急対応強化事業）：

16市町（合同実施5町を含む）

津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、亀山市、熊野市、伊賀市、朝日町（木曾岬町）、玉城町（大台町、度会町、大紀町、南伊勢町）

※（ ）は合同実施

(2) 放課後児童対策の実施状況

放課後児童クラブの数は、379クラブとなり、昨年同期（H28.5.1）に比べて19クラブ増加し、待機児童数も13人減少しました。

放課後子ども教室は、74教室となり、昨年同期（H29.3.31）に比べて3教室増加しました。

①放課後児童クラブと放課後子ども教室の実施状況

放課後児童クラブ・放課後子ども教室を設置する小学校区の割合は、前年度に比べ、1.5ポイント上がりました。

○平成31年度までの目標：93%

・平成27年5月1日現在 337校区／372校区 90.6%

・平成28年5月1日現在 338校区／368校区 91.8%

・平成29年5月1日現在 333校区／357校区 93.3%

②放課後児童クラブの待機児童数

待機児童数は、放課後児童クラブの創設等により、13人減少しました。

・平成27年5月1日現在 10市町 86人

・平成28年5月1日現在 7市町 56人

・平成29年5月1日現在 6市 43人（13人減）

③放課後児童クラブの創設、改築等状況（国や県の補助金を活用したもの）

・平成27年度 4市4クラブ

- ・平成28年度 8市8クラブ
- ・平成29年度 4市町4クラブ（津市、松阪市、志摩市、東員町）

（3）ひとり親家庭の利用料支援の状況

ひとり親家庭の利用料支援に取り組む放課後児童クラブに対して支援するため、平成27年度から補助制度を設けています。この補助制度を活用する市町が増加し、事業対象人数も増加しています。

- ・平成27年度 17市町623人（149クラブ）
- 平成28年度 20市町934人（205クラブ）
- 平成29年度 23市町1348人（278クラブ）

〔平成30年度の取組方向〕

- （1）病児・病後児保育施設 2施設 創設
- （2）放課後児童クラブ 6施設 創設、改築等 を予定しています。

3. 人材の確保、質の向上等について

〔平成29年度の実施状況〕

今年度、県が実施している人材の確保、質の向上等に関する各種事業については、以下のとおりとなります。

実施事業	実施状況
1. 保育士・保育所支援センター事業 ・保育所就職支援ガイダンス ・潜在保育士復帰支援のための就労相談、就労支援 ・潜在保育士現場復帰支援研修 ・新任保育士就業継続支援研修 ・管理者、経営者マネジメント研修	6月 参加者 48名 専門相談員の配置やハローワークと連携して「保育のお仕事相談会」を開催 70回 相談件数 197件(1月末現在) 2会場 受講者 13名 3会場 修了者 156名 6会場 受講者 266名(予定)
2. 子育て支援員研修 ・地域保育コース ・放課後児童コース	1会場 修了者31名(予定) 1会場 修了者65名(予定)
3. 放課後児童支援員認定資格研修	3会場4回 修了者324名(予定)
4. 人権保育専門研修 ①障がい児共生保育 ②一人ひとりを大切にする人権保育の実践 ③子どもの貧困と子ども支援 ④造形活動を通して自尊感情を高める ⑤子どもの権利と子育て支援 ⑥多様な性を考える ⑦これからの多文化共生保育のあり方 ⑧家庭支援推進保育士向け連続講座	3会場 受講者 86名 3会場 受講者 58名 3会場 受講者 54名 3会場 受講者 77名 3会場 受講者 91名 3会場 受講者 40名 3会場 受講者 42名 4回 受講者 134名
5. 公立幼稚園等新規採用教員研修 幼稚園等教員教職経験11年次研修	〔新規〕 幼稚園教諭17名、保育教諭6名 〔11年次〕幼稚園教諭10名、保育教諭1名
6. 乳幼児教育研修 ①保幼小の連携 ②0～2歳児の発達理解と保育	受講者 131名 受講者 172名
7. 乳幼児教育関連講座 ①ちがいを認め合う人権教育 ②特別支援教育基礎講座 ③生徒指導研修 ④環境教育	受講者 7名 受講者 2名 受講者 2名 受講者 3名
8. 私立幼稚園研修等事業費補助金	三重県私立幼稚園・認定こども園協会が実施する研修事業等について補助を実施。

	私立の幼稚園教諭・保育教諭の新規採用教員研修会など 10事業 35分野 参加者 2,068名(予定)
9. 保育士修学資金貸付事業	平成28年度からの継続 24名 平成29年度新規 30名 平成30年度貸出予約 30名
10. 潜在保育士就職支援準備金貸付事業	平成29年度 4名(予定)
11. 三重県国公立幼稚園・こども園長会、 公益社団法人全国幼児教育研究協会 三重支部合同研修会	①幼児期のインクルーシブ教育 ②今後の幼児教育の求めるもの 受講者 282名
12. 三重県幼稚園カリキュラム委員会集中研修会(三重県国公立幼稚園・こども園長会)	・一人一人の幼児に豊かでたくましく生きる力の基礎を育む 受講者 215名

〔平成30年度の取組方向〕

(1) 研修事業について

平成30年度から、保育現場におけるリーダー的職員の専門性の向上を図り、かつ、賃金等の処遇改善につながる「保育士等キャリアアップ」研修を実施します。

保育士等キャリアアップ研修は、マネジメント研修、専門分野別研修(①乳児保育、②幼児教育、③障がい児保育、④食育・アレルギー対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援、子育て支援)、保育実践研修の8分野からなり、1分野15時間以上の研修を都道府県または都道府県の指定した研修実施機関が実施します。

経験年数が概ね7年以上の保育士等は4つ以上の分野の研修を修了し、副主任保育士または専門リーダーとして発令されることで、経験年数が概ね3年以上の保育士等は担当する分野の研修を修了し、職務分野別リーダーとして発令されることで、処遇改善の対象となることが出来ます。

三重県では、平成30年度に8分野計2,400名の定員で研修を実施する予定ですが、申請のあった指定保育士養成施設等に対する指定も併せて実施し、保育士等のキャリアアップ・処遇改善につなげていきます。

次に、今年度実施中の研修事業は引続き実施する予定ですが、「潜在保育士現場復帰支援研修」及び「新任保育士就業継続支援研修」は、一部見直しして実施します。

潜在保育士現場復帰支援研修は、「保育士等キャリアアップ研修」の保育実践分野研修として実施することとし、また、新任保育士就業継続支援研修は、カリキュラムの一部見直しを行い、保育実践分野の研修として実施を予定しています。

その他の研修についても、引続き、三重県及び三重県教育委員会が連携して、子どもたちを取り巻く現状や現場のニーズに合わせて、適切な研修を実施していきます。

(2) 人材確保事業について

保育士の確保は、待機児童の解消、保育士の処遇改善及び質の向上を進めるうえで喫緊の課題であり、保育士・保育所支援センターを中心に新規就労、復職支援等を引続き実施しますが、新たに潜在保育士就労意向等調査事業を実施します。

県内には、保育士登録を行っている者が約2万人いますが、その約3分の2が、子育てや離職等による未就労、異なる職種での就業など保育現場で従事していない状況にあります。

そこで、「三重県内において保育士登録を行っている25歳から60歳の未就労の保育士」約1万人を対象とした就労意向等調査を実施し、潜在保育士の掘り起こしや福祉人材センターへの登録につなげていきます。

また、現在実施中の保育士修学資金貸付事業、潜在保育士の就職支援準備金貸付事業については、平成30年度新規貸付分をもって終了予定でしたが、保育現場における保育士確保のニーズが引続き重要な課題であることから、事業を2年延長し、平成32年度まで新規貸付を行う予定です。

4. 保幼小の連携について

〔小学校教育への円滑な接続に向けた取組の推進〕

三重県の子どもたちが発達段階に応じ切れ目なく体系的に必要な資質・能力を育むため、接続期（5歳児後半から1年生7月）における保育・教育活動、指導の工夫などをまとめた「三重県保幼小接続カリキュラム」（仮称）を作成しています。

※詳細は別紙1のとおり

〔保幼小の交流について〕

小学校への円滑な接続につながる取組の一つとして、幼稚園、認定こども園、保育所の児童が小学生との体験的な交流を行うことを推奨しています。

「みえ県民力ビジョン 第二次行動計画」の中では、平成31年度末に全ての園で複数回の交流が実施されることを目標としています。

公立幼稚園では多くの園で複数回の交流が行われていますが、私立の幼稚園や保育所では、卒園後に入学する小学校が分かれるなどの事情もあり、交流が進んでいないのが現状です。

今年度は、私立幼稚園等に対して他園の事例を紹介したり、小学校の校長会で協力を依頼するなどしました。

今後とも、教育委員会と連携しながら様々な機会をとらえて、取組が推進されるよう支援していきます。

小学校との交流を行った幼稚園等（H28年度）

	複数回交流	1回のみ交流	計（1回以上交流）
公立幼稚園	145園中127園 87.6%	145園中18園 12.4%	145園中145園 100%
私立幼稚園	56園中12園 21.4%	56園中16園 28.6%	56園中28園 50.0%
私立・公立 認定こども園	18園中11園 61.1%	18園中3園 16.7%	18園中14園 77.8%
私立・公立 保育所	382園中179園 46.9%	382園中109園 28.5%	382園中288園 75.4%
計	601園中329園 54.7%	601園中146園 24.3%	601園中475園 79.0%

<参考>

平成 29 年 6 月に、各幼稚園、認定こども園、保育所に向けて、小学校との交流を積極的に行っていただきたい旨の通知を送付した際に、既に交流を行っていただいている事例を紹介しました。

(以下、通知文から抜粋)

交流を始めるにあたっては、「何から始めればいいのか判らない」、「卒園児が全て同じ小学校に行くわけではないので、どの小学校と交流すればよいのか」、「事前の準備が大変そう」など、課題はいくつもあると思います。

ですが、まずは「小さな交流」から始める、又は「近隣の幼稚園が行っている取組に合同で参加」するなど、実現可能なものを見つけていただき、児童がスムーズに小学校に馴染んでいけるよう、ご協力いただければと思います。

以下の事例を参考にいただければ幸いです。

- ・ 5 年生が幼稚園に来て園児と一緒に遊ぶ。
- ・ 夏のお泊り会の際、小学校を見学。
- ・ 近くの小学校の運動会へ全園児が参加。
- ・ 年度末に 1 年生と年長児が交流。
- ・ 年長児が小学校へ行き、校内案内、授業見学などを行う。
- ・ 小学生 5 ～ 8 人程度が園に来てクラスに入り、1 日園児と過ごす。
- ・ 近くの小学校で年長児が給食体験（準備、後片付けなども）。
- ・ 小学校へ年長児が招かれ、1 年生と 6 年生と一緒に遊ぶ。

校内見学、楽器演奏、絵を描くなど交流。

その際は、近隣の保育所も一緒に招かれている。

〔就学前の子ども向け生活習慣チェックシートの活用について〕

3 歳～5 歳児を対象に、就学前の生活習慣チェックシートを幼稚園等に配布し（年 3 回）、取組結果の共有や取組方法、好事例の紹介など、家庭と連携した生活習慣等の確立が図られるよう支援しました。

実施状況は年々増加傾向にあり、「保護者、児童ともに生活習慣の見直しに役立った」、「家庭での様子がよく判り、保護者との会話にもつながった」など、多くの好意的なご意見をいただいておりますが、実施する回数・時期などについては、今後検討が必要であると考えています。

※「生活習慣チェックシート」は、別紙 2 のとおり

「生活習慣チェックシートの家庭・園等における活用状況」は、別紙 3 のとおり

1. 保幼小接続に関する課題

- 保幼と小の教育環境に違い(段差)が存在するため、子どもたちが小学校入学時に学校生活にうまく馴染めない問題(小1プロブレム)が指摘されている。

【小1プロブレムの例】

じっと座ってられない、立ち歩いて教室から出る、指示理解が弱い など

- 幼稚園等の活動が小学校の生活や学びにつながるものとなっていなかったり、小学校での活動が幼稚園等での経験や育んできた力を踏まえたものとなっていなかったりすることが指摘されている。

2. 三重県の状況

- 保幼小の連携はある程度行われているものの、行事など単発の取組に終わり、保幼小の保育・教育活動に体系的に位置づけられている市町・学校は限られている。

【保幼小の連携の状況】

・幼稚園等と小学校の合同学習会や合同行事等体験的な交流の実施状況(2回以上)

54.7%(公立幼稚園:87.6%、保育園・認定こども園・私立幼稚園:44.3%)

・教育課程の編成に係る情報交換など、幼稚園等と小学校の連携の実施状況

公立幼稚園:82.8%、小学校:79.5%

3. 国の状況

- 新幼稚園教育要領等及び新学習指導要領において、円滑な接続に関する記載がある。

幼稚園教育要領

第1章 総則 第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

(2)幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、(略)幼稚園教育と小学校との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

※保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも同様の記載

小学校学習指導要領

第2 教育課程の編成

(1)(略)小学校入学当初においては、幼児期における自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

4. 課題等を踏まえた対応(保幼小接続カリキュラムのねらい)

- 以上を踏まえ、保幼小の教職員に、

幼稚園等・小学校においてそれぞれ、

①育みたい力や生活・学びの特徴はどのようなものか、

②両者の違いを踏まえ、幼稚園等で育んできた経験や力をスムーズに小学校以降の学びや生活につなげていくため、接続期(5歳児後半から1年生7月)において、幼稚園等・小学校でどのような保育教育活動・指導の工夫を行ったらよいか

について、幼稚園等・小学校の教職員に理解を深めてもらい、具体の保育教育活動・指導に活かしてもらうことで、三重県の子どもたちが発達段階に応じ切れ目なく体系的に必要な資質・能力を育んでいくことにつなげる

ことをねらいに「三重県保幼小接続カリキュラム」(仮称)を作成する。

【保幼小の段差と段差解消のための指導の工夫の例】

	段差(一日の流れ)	小1プロブレムの例	段差解消のための指導の工夫
幼稚園等	子どもの生活リズムに合わせる	1時間の授業を集中して聞き続けることが難しく、立ち歩いたりしてしまう	時間を意識させながら活動に区切りをつけさせる椅子に座った活動を意識的に多くとるようにする
小学校	時間割に沿う		45分の授業を複数の教科に分ける(例:算数15分、国語15分、生活15分)

<他県における保幼小接続カリキュラムの作成状況>

- ・ 国立教育政策研究所の調査によると、平成20～27年度の間には保幼小接続カリキュラム(及びそれに準ずるもの)を作成している都道府県は、7(東京都、埼玉県、富山県、愛知県、福井県、山口県、大分県)。
- ・ この他、岐阜県と奈良県が今年度中の完成を目指し作成中。

5. 保幼小接続カリキュラムの構成

1 三重県保幼小接続カリキュラムについて

(1)保幼小接続に係る現状と課題について

⇒三重県や国の保幼小接続の現状と課題について

(2)カリキュラム作成のねらいと活用方法について

⇒三重県保幼小接続カリキュラムの作成のねらいとどのように活用してもらいたいのか

2 接続カリキュラム

(1)幼稚園等と小学校の特徴等と円滑な接続のために幼児期に育みたい子どもの姿

⇒幼稚園等・小学校においてそれぞれ、①どのような力を育むことを目指しているのか、②学びや生活にどのような特徴があるのか、③両者の違いを踏まえ、小学校以降の学びや生活に円滑につなげていくため、幼児期に育みたい子どもの姿はどのようなものか

(2)育みたい子どもの姿に向けた教育・保育活動、指導の工夫

・幼稚園等(小学校へつながる教育・保育活動の工夫)

⇒小学校につながる教育・保育活動の工夫の具体例

・小学校(幼稚園等の経験を生かした指導の工夫)

⇒幼稚園等で培った経験・力を踏まえた指導の工夫の具体例

3 接続カリキュラムの活用のために

(1)家庭や地域との連携・協力

⇒円滑な接続のために幼児期に育みたい子どもの姿の中には家庭教育や地域との関わりが重要なものもあることから、幼稚園等から家庭・地域への情報共有・協力の必要性について記載

(2)保幼小の連携・交流

⇒幼稚園等と小学校の教職員間の連携や幼児児童の交流の意義や進め方、留意点等について記載

(3)特別な支援を必要とする子どもへの対応

⇒特別な支援を必要とする子どもについて保幼小間の情報共有など連携の必要性や留意点等について記載

4 実践事例

⇒保育教育活動、指導の工夫や保幼小の連携・交流に関する実践事例を記載

別紙2 小中学校の読書習慣・生活習慣チェックシートへの繋がりを意識した就学前の子ども向け生活習慣チェックシートの家庭・園等における活用(平成29年11月末現在)

チェックシートの実施状況

	平成28年5月	平成28年7月	平成28年10月	平成29年5月	平成29年7月	平成29年10月
全園	85.8% 514/599	83.7% 504/602	84.6% 509/602	90.7% 546/602	85.7% 517/603	83.7% 505/603
公立幼稚園	94.6% 140/148	94.6% 140/148	97.3% 144/148	97.2% 137/141	94.3% 133/141	91.5% 129/141
公私立保育所・ 認定こども園	83.5% 330/395	79.4% 316/398	80.2% 319/398	89.5% 366/409	82.0% 336/410	81.0% 332/410
私立幼稚園	78.6% 44/56	85.7% 48/56	82.1% 46/56	82.7% 43/52	92.3% 48/52	84.6% 44/52

チェックシートのフィードバック状況

	生活習慣・読書週間の結果について保護者と情報共有を図った(図る)割合 〔上段：活用割合、下段：活用種別割合〕 ※下段は複数回答可						
	平成28年 5月		7月	10月	平成29年 5月		7月
	5月	7月	10月	5月	7月	10月	
公立幼稚園	89.2% 132/148		89.2% 132/148	92.6% 137/148	93.6% 132/141	89.4% 126/141	88.7% 125/141
	送迎の際に共有	10.1%	16.9%	14.9%	12.8%	20.6%	13.5%
	園だよりに掲載	66.2%	68.2%	64.2%	71.6%	58.9%	58.2%
	懇談会で報告	33.8%	21.6%	25.0%	24.1%	22.0%	30.5%
	その他	9.5%	6.8%	8.1%	7.8%	7.8%	8.5%
公私立 保育所・認 定こども園	—		—	—	—	—	—
	送迎の際に共有	13.4%	15.1%	17.8%	18.8%	22.0%	21.2%
	施設だよりに掲載	26.3%	24.6%	24.6%	30.8%	29.0%	30.2%
	懇談会で報告	8.4%	6.5%	10.1%	8.8%	5.4%	8.0%
	その他	7.1%	10.3%	7.5%	5.9%	7.8%	5.1%
私立幼稚園	42.9% 24/56		50.0% 28/56	50.0% 28/56	48.1% 25/52	55.8% 29/52	46.2% 24/52
	送迎の際に共有	7.1%	7.1%	8.9%	7.1%	7.7%	5.8%
	施設だよりに掲載	26.8%	35.7%	26.8%	35.7%	34.6%	36.5%
	懇談会で報告	7.1%	10.7%	14.3%	10.7%	15.4%	5.8%
	その他	1.8%	3.6%	5.4%	3.6%	3.8%	7.7%

家庭の協力状況

チェックシート実施以前より家庭が協力的に取り組むようになった割合	平成28年 5月	7月	10月	平成29年 5月	7月	10月
公立幼稚園	70.3%	68.2%	75.0%	66.6%	74.5%	70.9%
公私立保育所・認定こども園	41.3%	33.4%	40.5%	41.3%	40.0%	42.0%
私立幼稚園	44.6%	46.4%	48.2%	50.0%	48.1%	40.4%

(活用例) 園だよりへの分析結果の掲載、懇談会等で保護者に報告、送迎の際に保護者に共有、協力者会議等での議題 など

できるかな!

三重県教育委員会
マスコットキャラクターみえびい



おうちの人と一緒に確認してください。

くみ:

なまえ:

❁ おきるじこくやねるじこくなどをおうちのひとときめましょう。

❁ したのことができたなら(😊)に、いろをぬったりシールをはったりしましょう。



こうもく	ひづけ	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> じ <input type="checkbox"/> ぶんにおきる		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
じぶんできがえをする		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
あさごはんを食べる		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
うんちをする		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
すすんであいさつをする		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
おはようございます		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
からだをうごかしてあそぶ		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
テレビをみる・ゲームをするじかん		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
<input type="checkbox"/> ぶんいない		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
おうちのひとと一緒に ほんをよむ		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
はみがきをしてから、 <input type="checkbox"/> じ <input type="checkbox"/> ぶんになる		😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊

おうちのひとからのひとこと

(自信につながるようほめる一言をお願いします)

※チェック項目等については、幼稚園教育要領および三重県チェックシート(小学生版・中学生版)等を踏まえて作成しました。
※この用紙は、「みえの学力向上県民運動」ホームページよりダウンロードできます。